

光市医師会報

平成 16 年 3 月号

No. 360



浅江 西河原

撮影 兼 清 照 久

光市医師会

エッセー

「色気より食い気」

松村医院
院長 松村寿太郎



俗に色気より食い気という。現代風に言い換えれば、性生活より食生活といったところか。この地球上いかなる植物も動物も、親の性生活により自分から頼みもしないのに生まれてくる。生まれた固体は日々食生活を営んで成長し、身体を維持し、やがて本能と言われる形で性生活に励み、新しい生命を作り、自身は絶えていく。地球上に生命が誕生して以来脈々と続いてきたことである。

植物が食生活を営んでいるという実感はなかなか湧きにくい。森へ行って木の幹に聴診器をあててみれば、根元の方から勢いよく水が吸い上げられて昇っていく流れの音を聴くことができるという。植物の性生活という、これまたイメージが湧かないかもしれない。植物の種類により方法こそ異なるが、巧妙な仕掛けで、雌しべと雄しべが結合することのより、新しい生命が作られる仕組みは、小学校の理科で教わる。多くの植物にとって、春から夏にかけてが主として食が行われる時季であり、秋から冬にかけてが主として性が営まれる時季となっている。

動物の性生活も、植物のそれとおなじく年一回周期のものが多いが、植物における春は食、秋は性という周期とは逆に、春が性の時季のものが多い。春になると発情期を示す動物の存在は子供でも知っている。

植物と動物におけるこの食と性の周期を半年ずらした神の働きは、正に自然界の妙であると言えよう。

動物の中でも、ではヒトはどうかというと、幸か不幸かヒトは一年中発情期となってしまう。日本には、「性欲の春」という言い方はないが、「食欲の秋」という古人の言葉があることからすると、一年の季節の中でも、秋がもっとも食の進む季節なのだろう。

動物の食生活の方はどうかと言えば、これも各々の種ごとに誠に巧妙な仕方で営まれている。動物と植物を含めた自然界の生物同士は、食物連鎖という言葉が示すように、お互いに食べ合って各々の固体、種を維持している。その生態系をヒトが破壊するために絶滅の危機に瀕している生物の話が時に話題に上がる。動物の生活の大半は、自身の食のために費やされている。

日本は今、飽食の時代と形容される程、食物があふれている。しかし、その用意された食物の内容となると、いろいろと問題点が多い。また、「衣食足りて礼節を知る」という言葉を古人は作り出したが、食生活という言葉はあっても、衣生活とか住生活という言葉は存在しない。ヒトの生活の中で、日々の食生活が貧弱では困る。不景気の風が吹いて、生活費を切り詰めなければならなくなった時には、ヒトは他人の目に

一番よく見えない食を節約する。

生物にとって、食生活が一日たりとも欠かせないことは、赤子の哺乳を休めないことからわかる。ヒトは今その食生活をできるだけ楽に済ませようとする向きがあるが、自身、のど（咽頭）の病を患ってみると、栄養、つまり口を通しての食生活がいかに大切なことであるかがよく理解できる。固体の維持には、正に何をもってしても、やはり色気より食い気なのである。



平成 16 年 3 月度定例理事会

日時：平成 16 年 3 月 9 日（火）19：30～
場所：光市医師会事務局

I. 報告事項

- ①第 4 回光市医師会介護保険研究会
（2/18：河村理事） 資料 1
- ②医師国保組合通常組合会 資料 2-①
医師互助会支部長会議 資料 2-②
（2/19：前田会長）
- ③西島英利候補講演会・激励会 資料 3
（2/22：河村次期医師連盟執行委員）
- ④光市計画策定協議会
（2/25：河村次期会長）
- ⑤第 147 回山口県医師会代議員会（選挙）
（2/26：河村次期会長） 資料 4
- ⑥周南地域救急医療対策協議会
（2/26：前田会長）
- ⑦周南地域リハビリテーション協議会
（3/4：河村理事） 資料 5
- ⑧県民公開講座（ジョンQ 上映会）
（3/7：河村次期医師連盟執行委員）
- ⑨光市国民健康保険運営委員会
（2/12：佃理事） 資料 6

II. 協議・承認事項

- ①3 月度光市医師会月例会と学術講演会
について（前田会長・山本理事）
- ②小児インフルエンザ予防接種公費補助
について（市回答）（前田会長） 資料 7
- ③産業医交代について
（光武理事）
- ④改定診療報酬説明会について
（松村副会長・佃理事）
- ⑤旧理事引継ぎ事項など
（各理事） 資料 8

資料 1 第 4 回光市医師会介護保険研究会
（河村）

日時：平成 16 年 2 月 18 日（水）19：00～
場所：光商工会館

「家庭で出来る理学療法」

講師 リハビリテーション医療研究所
理学療法士 大谷道明 先生



「何度曲がる」「何メートル歩ける」という医療的な機能と生活の場で何が出来るかという能力の違いの説明に始まり、患者を訓練人生にせず、日常の場でのリハビリ（生活リハビリ）の一端を短い時間の中で判り易く説明していただきました。実技指導では、一人でできる患者の移動の仕方を学びましたが、ひねりを加える事で簡単に向きを変えることができる状態はあたかも柔道・合気道の相手の力を利用するものに相通ずるものがあるように見えました。



資料2-①医師国保組合通常組合会議

(前田)

日時：平成16年2月19日(木)15:00～

場所：県医師会館

提出議題

1. 山口県医師国民健康保険組合給付費等支払い準備金の処分について
2. 平成16年度山口県医師国民健康保険組合事業計画について
3. 平成16年度山口県医師国民健康保険組合歳入歳出予算について

平成15年度の県医師国保組合の収支は、保険給付費並びに老人保健拠出金及び介護給付金の増加に伴い、平成13年度より赤字となっている。このままでは、16年度の予算編成は組めない。従って、不足分を補填するために、保険料を上げず、給付費等支払い準備金を取り崩す。将来的には保険料を上げるか、賦課給付金を抑えざるを得ないであろう。

このことを踏まえた上で1.～3.議案のすべて議決された(詳細は県医師会法に掲載)。

資料2-②山口県医師互助会支部長会議

(前田)

日時：平成16年2月19日(木)16:00～

場所：県医師会館

提出議題

1. 平成16年度山口県医師互助会事業計画について
 2. 平成16年度山口県医師互助会予算について
- 会費、災害見舞金、弔慰金、傷病見舞金、

医事紛争対策援助金、退会金に関し、すべて会則通り(詳細は県医会報に掲載)変更なし。

資料3 西島英利候補講演会・激励会

(河村)

日時：平成16年2月22日(日)

場所：徳山医師会館

山口県医師会長、徳山医師会長、下松医師会長、光市医師会長、各市の若手医師の会代表、など出席のもと、西島英利候補の参議院選挙へ向けての決意と意思を聞いた。さらに、激励会となり、ガンバロー三唱で打ち上げとなった。



資料4 山口県医師会代議員会

(河村 佃)

日時：平成16年2月26日(木) 15:00~

場所：山口県医師会館

<選挙>

選挙はすべて定員の候補で承認のみであった。

議長 伊藤 肇 (下関市)

副議長 武内節夫 (下松市)

会長 藤原 淳(すなお) (山口市)

副会長 木下敬介 (長門市)

上田尚紀 (防府)

理事 正木康史 (岩国市)

小田悦郎 (宇部市)

佐々木美典 (山口市)

(よしみち)

湧田幸雄 (山口市)

萬 忠雄 (山口市)

三浦 修 (防府)

杉山知行 (防府)

濱本史明 (吉南)

吉本正博 (下関市)

弘山直滋 (下関市)

加藤欣士郎 (下関市)

西村公一 (小野田市)

田中豊秋 (徳山)

井上裕二 (山口大学)

監事 青柳 龍平 (豊浦郡)

山本 貞壽 (萩市)

(さだひさ)

小田 清彦 (山口市)

資料5 周南地域リハビリテーション

連絡協議会 (河村)

日時：平成16年3月4日(木) 13:30~

場所：周南市徳山保健センター

作業部会報告

1. リハビリ指導者及び従事者に対する研修会 (3回施行)
2. 地域リハビリテーション情報提供書の作成
3. 平成16年度リハビリスタッフ研修会 (会場を変えて6ヶ所で開催予定)

※一般住民をまき込んだリハビリ研修会にしないと意味がないのではという意見があった。

資料6 光市国民健康保険運営委員会 (佃)

日時：平成16年2月12日(木) 14:00～

会場：光市役所 第2委員会室

保険者代表挨拶 光市助役 重岡靖彦

急速な少子高齢化、長引く低成長のもと、我が国の医療保険を取り巻く情勢は大変厳しいものになっています。一昨年7月に健康保険法の一部改正法が成立しまして、老人保険医療拠出金、保険者支援制度の増設、高額医療費共同事業の拡充など、国保財政基盤の強化が図られることになり、さらに被保険者の自己負担額や診療報酬の見直しが行われるなど、強い医療費抑制策がとられているところです。また、高齢化がピークを迎える将来において、保険医療制度の暫定的な運営を確保するため、国におきましては医療保険制度体系のあり方、新しい高齢者医療制度の創設、診療報酬体型の見直し等、医療制度の改善策を打ち出すことになっていますが、医療制度の改革は市民生活に重要な関わりを持っており、我々が安心して医療が受けられる制度改革に向けて、私どもも微力ではございますが、これに鋭意、力をそそいで参りたいと思っています。本日は、本市の国民健康保険事業につきまして、皆様のご審議を賜るわけですが、平成16年度の予算におきまして、保険税率の見直しを盛り込んでおります。どうかみなさんの率直なご意見をいただきながら、これからは健康保険事業を順調に運営できるようによろしくご協力を賜りたいと思います。

議事

(1) 平成15年度光市国民健康保険特別会計決算見込みについて

療養給付費の変化(千円)

| | 一般 | 退職 | 老人医療費 | 保険医療費計 | 介護給付費 |
|----------|---------|--------|---------|---------|--------|
| 平成13年度決算 | 1073987 | 716403 | 996559 | 2786949 | 152139 |
| 平成14年度決算 | 993011 | 744999 | 1057586 | 2795596 | 157186 |
| 平成15年度決算 | 1165496 | 936721 | 867360 | 2969577 | 187789 |

(2) 平成16年度光市国民健康保険特別会計予算(案)について

| | 一般 | 退職 | 老人医療費 | 保険給付費計 | 介護給付費 |
|----------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 平成16年度予算 | 1271600 | 1089200 | 812900 | 3173700 | 229900 |

(3) その他

資料7 小児インフルエンザ予防接種公費補助について（市回答）（前田会長）

光 健 第764号

平成16年2月12日

光市医師会

会長 前田 昇一 様

光市長末岡泰義

小児インフルエンザ予防接種公費補助について（回答）

平成16年1月6日付けで提出のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

昨年インフルエンザの猛威により、今年は新型肺炎 SARS とともにインフルエンザ予防として、マスクを通じたインフルエンザの予防接種を勧める報道が多くなされています。また、市としましても広報掲載等で、高齢者インフルエンザ予防接種の勧奨や衛生面での注意を促しているところです。

さて、ご要望の小児インフルエンザ予防接種の件でございますが、これまで全国的に学校での集団接種を約30年間実施した結果、流行を阻止するほどの十分な効果が立証されず、健康被害の問題も生じたため、定期予防接種からはずれた経緯がございます。現在、小児インフルエンザ予防接種につきましては、専門家の中でも賛否両論があると伺っております。

また、光市におきましては、昭和41年に不幸にも乳児がインフルエンザ予防接種により、重大な健康被害を受け、障害をもたれ、一昨年亡くなられるという痛ましいことがございました。

このようなことから、小児インフルエンザ予防接種につきましては、任意の予防接種であり、国や予防接種リサーチセンター等の動向をみながら、慎重な対応が必要と考えております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

資料8 平成16年度会務分担表(案)

新しい役員の役割表(案)です。

| | 業務区分 | 担当理事 | 担当補佐 |
|----|----------------|-------|-----------------------------|
| 1 | 総務 | 河村康明 | 松村寿太郎 |
| 2 | 庶務・会計 | 松村寿太郎 | 河村康明 |
| 3 | 広報 | 道上文和 | 佃邦夫、平岡博、高橋秀児、山本憲男、清水敏昭、村田雅子 |
| 4 | 医療情報システム | 佃邦夫 | 山本憲男、横山宏、兼清照久 |
| 5 | 生涯教育 | 山本憲男 | 田村健司、廣田修、平岡博 |
| 6 | 保険 | 兼清照久 | 平岡博、田村健司 |
| 7 | 労災・自賠責 | 兼清照久 | 藤田敏明 |
| 8 | 医事紛争(含麻薬、診療情報) | 佃邦夫 | 道上文和 |
| 9 | 地域医療計画(救急含) | 光武達夫 | 藤田敏明、清水敏昭 |
| 10 | 介護保険 | 丸岩昌文 | 市川晃、河内山敬二 |
| 11 | 成人高齢者保健 | 丸岩昌文 | 田村健司、守友康則 |
| 12 | 妊産婦・乳幼児保健 | 道上文和 | 大月恭範、山手智夫 |
| 13 | 学校保健 | 平岡博 | 廣田修、横山宏、山手智夫 |
| 14 | 産業保健 | 平岡博 | 市川晃、守友康則 |
| 15 | 会員福祉 | 丸岩昌文 | 守友康則、田村健司、廣田修、河内山敬二、村田雅子 |
| 16 | 医業経営(労務・税制) | 光武達夫 | 兼清照久 |
| 17 | 治験 | 山本憲男 | 高橋秀児 |
| 18 | 医療廃棄物 | 兼清照久 | 河内山敬二 |
| 19 | 納税貯蓄組合 | 松村寿太郎 | 清水敏昭 |

平成16年3月度月例会

日時：平成16年3月23日（火）19：00～

場所：光市商工会館

I. 学術講演会

【特別講演①】

「睡眠時無呼吸症候群

—心不全症例を含めて—」

光市立病院 循環器・呼吸器内科

医長 米澤文雄 先生



【特別講演②】

「2004年度診療報酬改定の動向と
地域医療連携」

メディカル21 代表 村上佳子 先生



II. 月例会

会務報告など

光医歯会ゴルフコンペ成績

日時：平成16年3月14日(日)

場所：周南カントリークラブ

| 順位 | 氏名 | グロス | ハンディ | ネット |
|-----|-------|-----|------|-----|
| 優勝 | 赤崎信正 | 92 | 18 | 74 |
| 準優勝 | 枇榔義昭 | 102 | 23 | 79 |
| 3位 | 諏訪高志 | 95 | 15 | 80 |
| 4位 | 横山 宏 | 91 | 10 | 81 |
| 5位 | 海永泰男 | 94 | 13 | 81 |
| 6位 | 平田万三志 | 95 | 14 | 81 |
| 7位 | 森本博士 | 87 | 5 | 82 |
| 8位 | 守田忠正 | 98 | 15 | 83 |
| 9位 | 藤村 朴 | 95 | 10 | 85 |
| 10位 | 斉藤良明 | 111 | 26 | 85 |
| 11位 | 前田昇一 | 101 | 14 | 87 |
| 12位 | 河崎要助 | 111 | 20 | 91 |
| 13位 | 竹中智昭 | 119 | 27 | 92 |
| 14位 | 兼清照久 | 106 | 11 | 95 |
| 15位 | 丸岩昌文 | 133 | 36 | 97 |
| 16位 | 竹中博昭 | 135 | 36 | 99 |
| 17位 | 南 典文 | 125 | 23 | 102 |
| OS | 澄川英一 | 108 | | |

・ 持ちハンディキャップ、同ネットは高年齢が上位。

光医歯会ゴルフ同好会総会

日時：平成16年3月14日(日) 18:30~

場所：こやま

① 役員交代について

- ・ 会長 守田忠正、監査 藤村 朴、はそのまま続投となった。
- ・ 幹事には、兼清照久、南 典文が新しくなった。

② 年間予定は、5月23日、7月11日、10月24日、12月26日。

